



南部町立南部中学校 学校だより 第18号

千一ム南部中

令和4年12月23日(金)
校長 望月和彦

大きな成果をあげた2学期終了

本日12月23日に2学期の終業式を行いました。式の中で各学年と生徒会の代表4名が、2学期の振り返りと今後に向けてを発表しました。1年生代表の渡辺れのんさんは「今学期の1年生の成果は、良いクラスや学年にしようと、たくさんの方が意見を言えるようになってきたことです。切り替えが遅いという反省を生かして良い先輩になれるようがんばっていきたいです。」2年生代表の瀧井ひなのさんは「2年生は、2学期の行事の取り組みや学年合同のフリートークの時間を通して、仲間のコミュニケーションが活発になり、物事に積極的に取り組めるようになってきました。3学期は3年生の0学期と言われます。視野を全校に広げて新たな課題解決に向かっていきたいです。」3年生代表の望月里侑さんは「2学期初めに転校してきたときは不安がありましたが、周りの友だちが色々教えてくれたおかげで、今では活発に会話ができるようになりました。私のクラスは優しい人が多く、困っている人を助けてあげたり、喜ばせてくれたり、話し合いや教え合いもできるクラスです。まだ、全員が積極的に発言や反応ができないという課題を改善し、卒業するときは笑顔で笑い合って卒業したいと思っています。」生徒会代表の柿島瑛心さんは「今学期は生徒会最大行事の輝城祭や音楽発表会がありました。身につけたい力交流会やフリートークの時間を通して、学年を越えた関わりができ、主体的に行動する人が増えてきた結果、それらの行事を成功させることができたと思います。3学期は、1年生は新入生の手本となれる準備を、2年生は最高学年として全校を引っ張っていくための準備を、3年生はみんなで希望進路を実現し、3年生らしく卒業できるように、全員で頑張りましょう。」4名の代表者の言葉からも、2学期に大きな成果をあげることができたことが実感できました。式の中で私は次のような話をしました。



本日で、授業日81日間(1年生は80日)の2学期が終了しました。

この2学期は、輝城祭、音楽発表会、芸術鑑賞教室、生徒総会、3年生は思春期体験学習、2年生はキャリアセミナー、1年生は職業ワイド相談、そして1・2年生の新人戦やアンサンブルコンテスト、その他にも生徒会役員選挙やビブリオバトル、資源回収などの大きな行事がたくさんありました。8月の新型コロナウイルス第7波、11月後半からの第8波の中でも、これらの行事を行うことができたのは、生徒の皆さんやご家族、先生たちも感染症を防ぐためのルールやマナーを守り、可能な限りの対策を心がけて生活してくれたお陰だと思えます。授業においても、部活動においても、様々な行事においても、皆さんが真面目に前向きに頑張る姿が見られ、個々や集団としての課題を残しながらも、全体としては大きな成果をあげることができた2学期でした。

さて、一昨日の職業ワイド相談の中で、講師の先生が中学生に伝えたいことを話していたので紹介します。一人の方は「中学時代には一生懸命勉強しておきなさいということ。自分の将来の目標が決まっていない人もいますが、たくさんの知識や技術を身につけておけば、進学するにも、就職するにも選択肢が増えます。今は役に立たないと思っていることが、将来役に立つ時がきっと来るので、勉強を是非頑張ってください。」と。別の方は「私は南部中の野球部に入っていました。中学校の部活動で苦しいことや辛いことにも一生懸命頑張ってきたことが、今の仕事に生きています。」と。今、皆さんが中学校生活の中で学んでいることや身につけようとしている力は、将来の職業や上級学校で、人間関係の中で、趣味で、あるいは社会人としての生活の中で、人によって場面は違うと思いますが、必ず役に立つ時が来ます。中学校生活の一日一日を大切に、知識を蓄え、技術や考え方を学び、豊かな感性と健康な体を身につけていってほしいと思います。

明日から17日間の冬休みになります。部活動や学校の宿題に取り組むと同時に、家族や年末年始の大掃除、新年の準備や地域行事など、家族や地域の一員として自分ができることは積極的にやりましょう。3年生については、受験を控えた特別な冬です。すべての3年生に与えられた時間は皆同じです。その時間をどう使うかが、自分の進路実現につながります。がんばってください。感染症への注意と対策は継続して、家庭でもできることをしっかりやっていってほしいと思います。それでは、1月10日に笑顔の皆さんと会えることを楽しみにしています。

地域の職業人に学ぶ 「職業ワイド相談」

12月20日（火）5・6校時に1学年の「職業ワイド相談」を行いました。この行事は、様々な職種で働いている方を講師に招いて、ご自身の職業についての話を聞き、働くことの目的や意義について学習するキャリア教育の授業です。今回来ていただいた講師は、保育士の佐野夢月さん、調理師で飲食店を経営されている佐野英俊さん、看護師の遠藤知子さん（暖さんのお母さん）、消防士の佐野匠さん、介護福祉士の塩川寛人さん、森林組合で林業に携わっている村松良太さん（土輝さんのお父さん）の6人です。1年生も6グループに分かれ、生徒たちが講師のいる6つの部屋に分かれて話を聞きました。講師からは「その職業に就いた理由やきっかけ」「仕事のやりがいや楽しさ、苦労や大変さ」「その職業に必要な知識や技能、資格、適性」「将来、職業を選択することになる中学生に対するアドバイスやメッセージ」などを話していただきました。グループの責任者の生徒が司会をして、質疑応答の時間もつくって学習を深めました。1回の学習会の時間を20分間として、それぞれのグループが2回部屋を移動して、3回の学習会を行いました。生徒たちは、どんな仕事にも他の人が知らないような苦労や大変さがあり、反対にその職業ならではの喜びや楽しみ、やりがいがあることを学んでいました。この学習が、2年生になってからの「職場体験学習」や「中高連携事業のキャリアセミナー」に繋がっていきます。



これまでの生徒会活動の総括 「第2回生徒総会」



12月21日（水）に第2回生徒総会を行いました。今回の議題は、今年度の生徒会目標やスローガン、目標を達成するための2つの柱の総括（振り返り）を中心に、これまでの委員会活動と部活動の総括、「身だしなみ自主規制」の内容の検討についてでした。生徒会目標「自分と仲間の成長を喜び合える学校」を目指して、スローガン「変化をつかむ」を掲げて、輝城祭を中心とする生徒会行事を企画・実施し、「身につけたい力交流会」などの取り組みを実施してきた今年度の生徒会活動を評価する、たくさんの賛成意見が出されました。委員会活動や身だしなみ自主規制に対しては要望意見も出され、より良い学校や生徒会活動をつくろうとする生徒たちの議論の場となりました。今回で芦川圭澄生徒会長を中心とする生徒会事務局の活動は終わり、3学期からは遠藤夏奈生徒会長を中心とする新しい生徒会事務局の活動が始動します。

アンサンブルコンテスト

12月17日（土）桃源文化会館において、第46回アンサンブルコンテストが開催されました。本校からは吹奏楽部の遠藤はなさん、石原あゆみさん、切金ななみさん、狐塚美桜さん、渡辺れのんさんの5名が出演し、管楽五重奏「ゆめのかげら（Dream Fragments）」を演奏しました。12月に入ってから放課後の活動時間を延長して、この日のためにがんばってきた5人は、前日の16日の朝、全校生徒の前でプレ演奏会を開いてくれました。朝からとても素敵な時間になりました。当日の審査の結果、目標の金賞には届きませんでした。見事「銀賞」を受賞しました。よくがんばりました。



地域の方々に支えられています 「学校支援ボランティア」

日暮れが早くなった10月後半から、本校南側の諏訪神社から町道に出る交差点で、生徒たちの見守りをしてくださっている方がいます。学校の近くにお住まいの石川茂さんです。石川さんは2年前から学校支援ボランティアとして、生徒たちの下校時の安全確保のために、冬の間、毎日この活動をしてくださっています。



また、本校では教育祭書きぞめ大会に向けて国語の授業で書写に取り組んでいます。12月20日から22日の3日間、書道の専門家の望月紀枝さんと稲葉愛さんが学校支援ボランティアとして来校してくださり、各学級で2時間ずつ書写指導を行ってくださいました。お二人には、昨年度からお世話になっています。

